

森林官の一日

吾妻森林管理署 大前森林事務所

森林官 渡邊 美紀



自然豊かな嬭恋村が好きです

私の管理する国有林は、群馬県北西部に位置し、自然が豊かで高原キヤベツでも有名な嬭恋村にあります。

嬭恋村にはもう一つ、三原森林事務所があります。大前森林事務所は日本百名山の四阿山や浅間山など万座川から南側にあたる約7,400haを管理しています。

森林と人の共生林が約6割を占め、レクリエーションの森に指定されている箇所には、民間によって運営されているスキー場が2箇所とゴ



植え付けられたキャベツ畑と白煙をあげる浅間山

ルフ場、滞在施設などがあり、地域の観光産業などに寄与しています。

巡検って大変だよ

私の管内では、以前、農政局による農地開拓事業において国有林が大々的に売り払われ、耕地が拡大されました。このため、畑と隣接する境界（1種境界）が42キロメートルと比較的

多く、巡検に苦労しています。境界杭のあるところには、スキー場で不用となったストックを活用して見出標を付け遠方からも見えるよう工夫しています。しかし、一人でスコップを使い半日位かけて探して



農地脇での巡検作業

も見つからなかったこともありまし。ところが、基幹作業職員の方々が境界杭を、地下足袋にあたる感觸で何分もかからず見つけ出すことに脱帽し、現在は足の裏の感覚を磨くため経験を積んでいる段階です。

今後は現場を熟知している基幹作業職員の方々が退職を迎え、境界の保全管理作業は一層大変になっていくことと思います。



夏に賑わいを見せる石橋



日本百名山「四阿山」への登山道入り口

これからの抱負は…

高性能機器が進歩している中、国有林の境界管理作業は地道に行うしかない。効率がよく進められるようさらに研究していきたいと思つてます。アンテナを高くして周りから色々な情報を得ながら、まずは着実に境界の保全に努めていきたいと思つています。

気がつけば森林官として1年が経ちました。実際に山を見て歩き、良い森林にするにはどんな整備を進めていけばよいのか考えている毎日に責任の重さも感じています。今まで感じたことのない楽しさも感じます。作業をしていると、鉋や鋸をぶら下げ、ヘルメットや防蜂網等をかぶっている姿が奇妙に映るのか、山登りにいく人や地域の人達に話しかけられ、山の管理などについて話をすることがよくあります。山を歩きながら挨拶を交わすことや話をすることが好きな私ですが、自分の思っていることを分かりやすく人に伝えることの難しさを実感しています。

また、森林教室やイベントなどでは子供達に言葉の訂正されたりして落ち込むこともあります。これからは積極的に参加して、諸先輩方の技術（話術）を学び、自分の言葉でしっかりと森の大切さを伝えていきたい。さらに努力していきたいと思つています。